

アクセス

車：山陽自動車道山陽 IC から北へ約 1.3km、下市交差点を西へ約 2km。
 バス：岡山駅から、宇野バス（山陽団地・ネオポリス・林野駅方面）で、「新道・穂崎下」下車、北へ徒歩 200m。



整備された塔基壇 ②



墳丘を望む ⑦

- ① 両宮山古墳
- ② 備前国分寺跡（国史跡）

奈良時代、聖武天皇の発願によって建立された官立寺院。伽藍の広さは南北 200m、東西 180mに及びます。南門・中門・金堂・講堂・僧房が一直線に並び、東南には塔を配置しています。発掘調査成果により、塔や講堂の基壇整備が行われています。

- ③ 森山古墳
- 墳丘全長 82m の帆立貝形古墳で後円部の高さが際立ち、周囲には周濠をめぐらしていました。葺石と埴輪を伴い、両宮山古墳に続く首長墳と考えられます。

- ④ 廻り山古墳
- 墳丘全長 47m と推定される前方後円墳です。墳丘は畑の開墾が著しいですが、大きく開いた前方部を北に向けており、6 世紀前半の築造と考えられています。

- ⑤ 備前国分尼寺跡
- 備前国分寺跡から県道を挟んで南に仁王堂池があり、この付近が備前国分尼寺跡と想定されています。備前国分寺跡と同型式の軒瓦が採集されています。

- ⑥ 朱千駄古墳
- 墳丘全長 85m をはかる前方後円墳で、後円部には竜山石製の長持形石棺が納められていました。現在、石棺は岡山県立博物館に展示してあります。中からは、この古墳の由来となった大量の朱とともに銅鏡、玉類、鉄器類が出土しました。5 世紀末に築造されたと考えられます。

- ⑦ 小山古墳
- 墳丘全長 67m に復元される前方後円墳で、後円部上には阿蘇溶結凝灰岩製の古式家形石棺が破片となって所在しています。埴輪列が確認されており、5 世紀末の築造と考えられます。

- ⑧ 岩田 14 号墳
- 山陽団地造成の際に発掘された横穴式石室（全長 11.8m）をもつ後期古墳で、公園として保存されています。中からは、単竜環頭大刀や雁木玉をはじめ多量の須恵器や馬具類が出土しました。出土品は赤磐市山陽郷土資料館に展示・保管してあります。



横穴式石室の入口 ⑧

発行：赤磐市教育委員会

〒709-0816 岡山県赤磐市下市 337 番地
 TEL 086-955-0710 FAX 086-955-0758
 HP <http://bunkazai.akaiwa-rekishi.jp/>

赤磐の文化財 検索

平成 28 年 7 月

国指定史跡

両宮山古墳

～二重の周濠をもつ備前地域最大の前方後円墳～



吉備の三大古墳のひとつ

指定年月日：昭和 2 年 4 月 8 日（追加）昭和 53 年 2 月 8 日、平成 18 年 1 月 26 日

岡山県赤磐市、吉備の南東部に位置する**前方後円墳**です。平成 14～16 年度の確認調査によって、現在水をたたえた内濠の外側に外濠が発見され、二重の周濠をもった古墳であることが判明しました。墳丘の長さは 206m をはかり、岡山県内では造山（350m）、作山古墳（286m）に次いで 3 番目、**備前地域では最大**です。

造られたのは**5 世紀後半**（今から 1,500 年以上前）で、**吉備の有力豪族のお墓**であったと考えられます。

* 吉備：現在の岡山県と広島県東部の地域

岡山県赤磐市教育委員会